

Ⅱ 調査結果の概要

1. 観光入込客延べ数

平成 23 年の島根県の観光入込客延べ数は 27,502 千人であり、前年と比べると、901 千人（-3.2%）減少した。

区 分	総 数	内 訳	
		県内客	県外客
観光入込客延べ数（千人）	27,502	5,418	22,084
構成比（%）	100.0	19.70	80.30
対前年増減（%）	-3.2	-12.02	-0.72

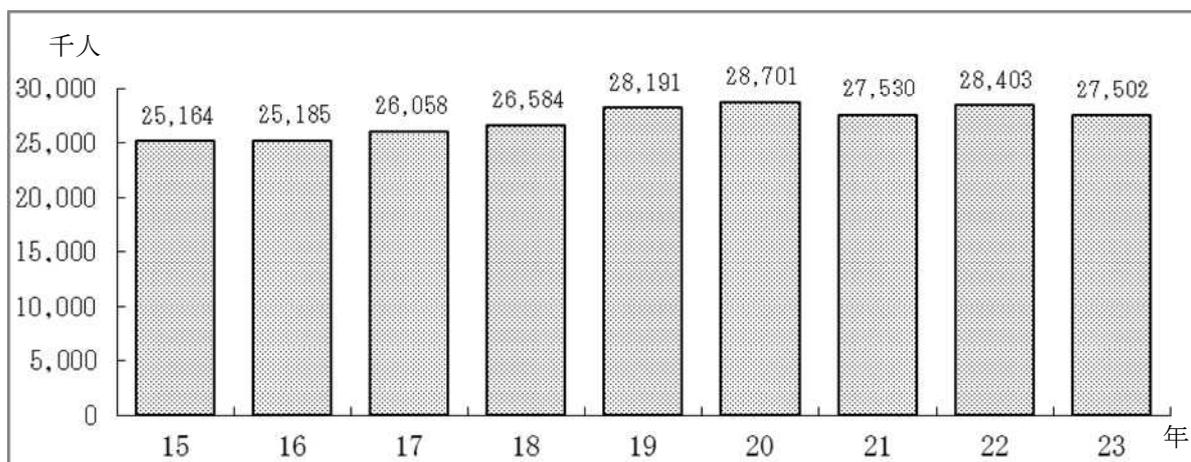
※県内客・県外客の別は、観光地点アンケート調査で得られたデータをもとに、県内入込客率・県外入込客率を算定し、入込延べ数に乗じて算出した。

※本調査結果での率の合計については、端数処理の関係により 100%にならない場合がある。

【主な変動要因】

- ① 冬期の大雪による減（1月）。
- ② 東日本大震災発生によるイベント自粛の影響（3月～4月）。
- ③ 山陰道及び浜田道の高速道路無料化社会実験の終了による自動車利用の減（7月以降）。

〈観光入込客延べ数の推移〉



2. 観光消費額及び経済波及効果

観光入込客延べ数をもとに、観光地点アンケート調査で得られた一人当たり消費額^{※1}などにより推計した平成23年の県全体の観光消費額^{※2}は1,191億円であり、前年に比べると約20億円(-1.7%)減少した。

また、この観光消費額が県内に及ぼす経済波及効果は1,427億円^{※3}であり、前年に比べ22億円(-1.5%)減少した。

※1 観光庁共通基準によるアンケート調査内容をもとに「1人当たりの消費額」(下表)を算出。

※2 観光消費額は、「1人当たりの消費額」に、入込客延べ数から推計した入込実数を乗じて算出。

※3 しまね統計情報により算出した平成23年の観光消費額が県経済に及ぼす影響：約1.20倍により計算。

○1人当たり消費額

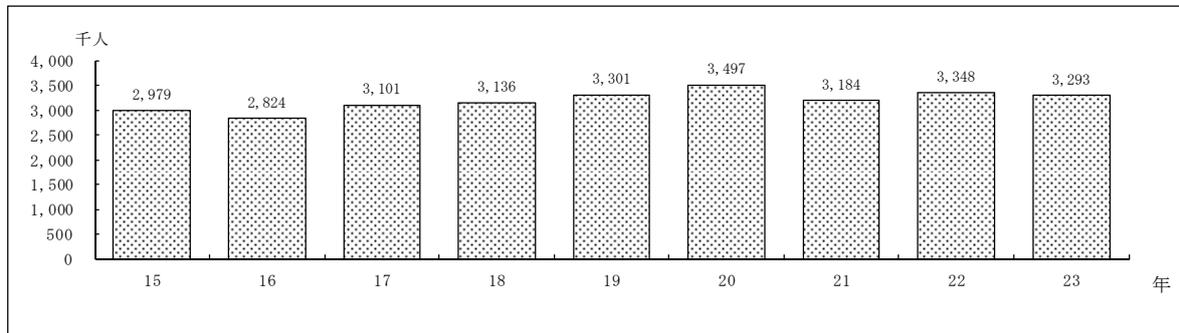
区分	一人当たり消費額 (円)	対前年増減
県内客・宿泊	15,363	+0.3%
県外客・宿泊	25,556	+2.7%
県内客・日帰り	3,309	+17.3%
県外客・日帰り	7,475	-4.0%

※宿泊：島根県内に1泊以上宿泊する観光客。
 ※日帰り：旅行日程が日帰り及び宿泊であっても島根県内には宿泊しない観光客。

3. 県内宿泊客延べ数

平成23年の島根県内宿泊施設への宿泊客延べ数は3,293千人で、これは前年と比べると55千人(1.64%)の減となった。

〈宿泊客延べ数の推移〉



区分	ホテル 旅館	民宿 ペンション	社会教育 施設	公共の 宿泊施設	キャンプ場	合計
宿泊客延べ数(人)	2,800,571	104,058	66,648	213,846	108,145	3,293,268
構成比(%)	85.0%	3.2%	2.0%	6.5%	3.3%	100.0%
対前年増減(%)	-1.3%	-0.4%	-12.3%	-1.0%	-6.1%	-1.6%

4. 外国人宿泊客延べ数

平成 23 年の島根県の外国人宿泊客泊延べ数は 20,565 人で、前年と比べ、1,920 人 (-8.5%) の減となった。東日本大震災による原発事故、併せて震災後には歴史的円高となったことを受け、外国人の訪問者数が減少した。

〈平成 23 年訪日外国人宿泊客延べ数〉

国 籍	宿泊客泊延べ数		対前年増減 (%)
	(人泊)	構成比 (%)	
米 国	2,873	14.0%	+7.5%
カ ナ ダ	146	0.7%	-42.7%
中 南 米	533	2.6%	+1139.5%
ヨ ー ロ ッ パ	4,643	22.6%	+8.9%
韓 国	4,406	21.4%	+16.2%
台 湾	2,408	11.7%	-55.9%
香 港	250	1.2%	+23.8%
中 国	1,882	9.2%	-23.0%
その他・アジア	777	3.8%	-44.6%
オセアニア	337	1.6%	+11.6%
アフリカ	80	0.4%	+788.9%
そ の 他	2,230	10.8%	+36.5%
合 計	20,565	100.0%	-8.5%

5. 観光入込客延べ数の分析

(1) 主要観光地観光入込客延べ数

市町村及び観光地・観光施設ごとの入込延べ数の上位 10 箇所は以下のとおりである。

〈市町村〉

市町村名	入込延べ数 (人)	対前年増減 (%)
出雲市	8,692,786	-3.4%
松江市	8,386,621	-4.3%
浜田市	1,962,526	-1.5%
大田市	1,497,064	+5.0%
安来市	1,371,098	-13.3%
津和野町	1,229,086	-8.3%
雲南市	950,346	+7.4%
益田市	939,774	+2.0%
奥出雲町	779,998	+4.9%
邑南町	440,729	-0.5%

〈観光地・観光施設〉

観光地・観光施設名	入込延べ数 (人)	対前年増減 (%)
出雲大社(出雲市)	2,479,000	+0.4%
日御碕(出雲市)	1,000,000	-9.8%
島根ワイナリー(出雲市)	792,732	-6.0%
玉造温泉(松江市)	618,113	-2.5%
石見海浜公園(浜田市)	617,260	-18.0%
三瓶山(大田市)	613,200	+7.6%
太鼓谷稲成神社(津和野町)	561,121	-12.9%
道の駅キララ多伎(出雲市)	554,269	-3.6%
足立美術館(安来市)	519,972	-12.1%
石見银山(大田市)	498,700	-1.2%

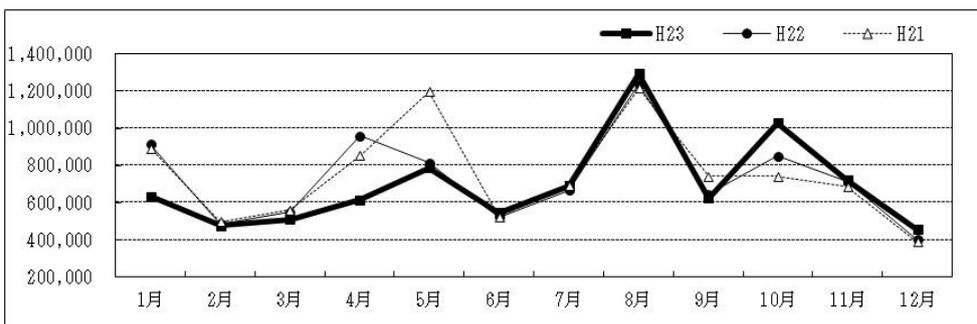
(2) 地域別観光入込客延べ数

地域別に観光入込客延べ数を比べると、最も多いのが出雲地域の8,693千人、次いで松江地域で8,387千人、益田地域の2,427千人、浜田地域の2,253千人、雲南地域の2100千人、大田地域の2,065千人、安来地域の1,371千人、隠岐地域の207千人の順となった。

前年と比較して、全体では雲南地域及び大田地域で増加し、その他の地域では減少した。松江地域、出雲地域、大田地域、益田地域、隠岐地域では、前年と比べて前期(1~6月)では減少したものの、後期(7~12月)では回復傾向が見られた。

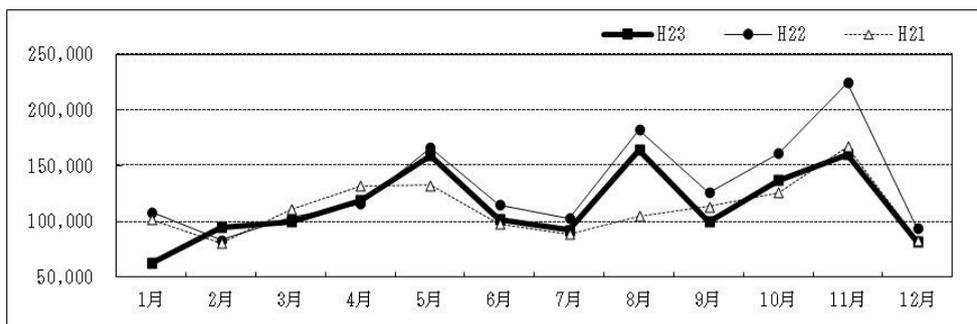
<地域別月別観光入込客延べ数>

松江地域



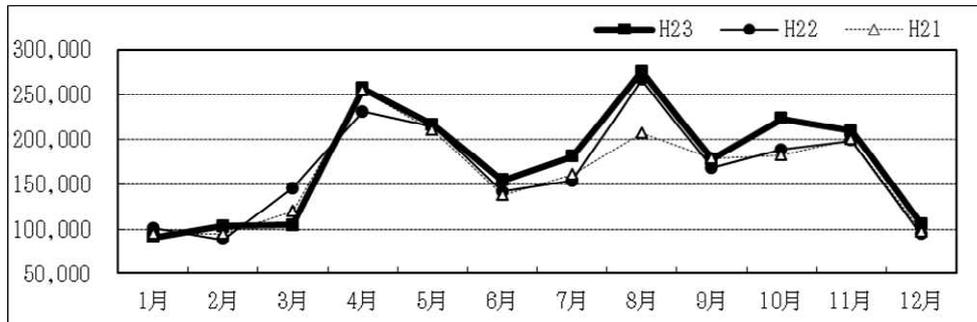
年	入り込み数
H23	8,386,621
H22	8,764,546
H21	8,994,127
対比	増減
H23対H22	-4.31%
H23対H21	-6.75%

安来地域



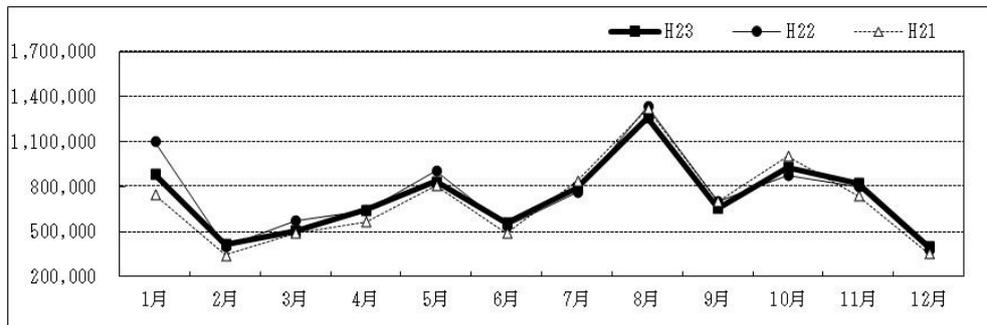
年	入り込み数
H23	1,371,098
H22	1,581,237
H21	1,338,599
対比	増減
H23対H22	-13.29%
H23対H21	+2.43%

雲南地域



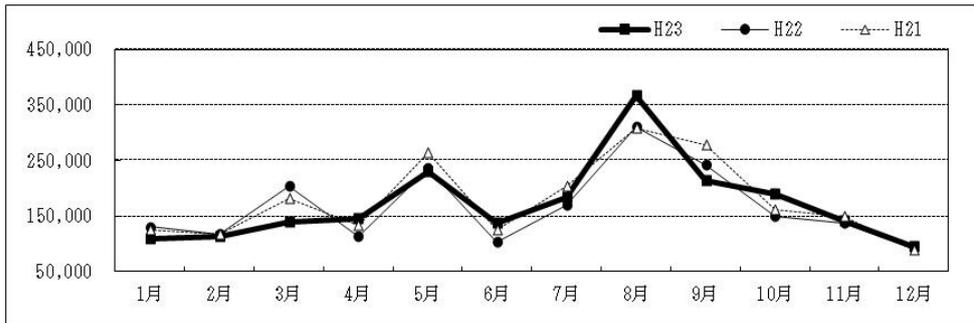
年	入り込み数
H23	2,099,648
H22	1,992,173
H21	1,937,333
対比	増減
H23対H22	+5.39%
H23対H21	+8.38%

出雲地域



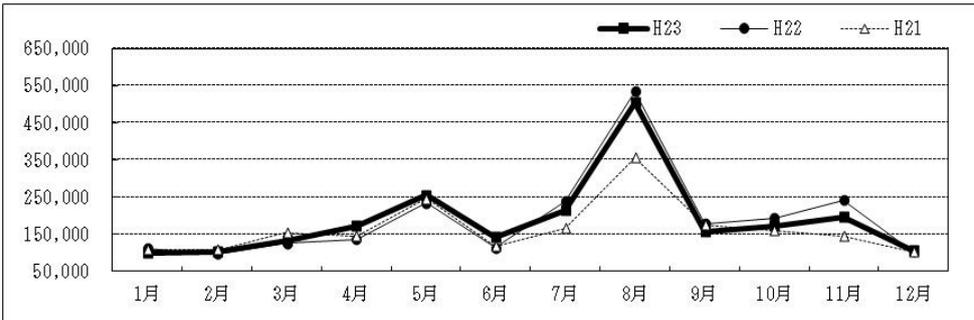
年	入り込み数
H23	8,692,786
H22	8,993,744
H21	8,388,351
対比	増減
H23対H22	-3.35%
H23対H21	+3.63%

大田地域



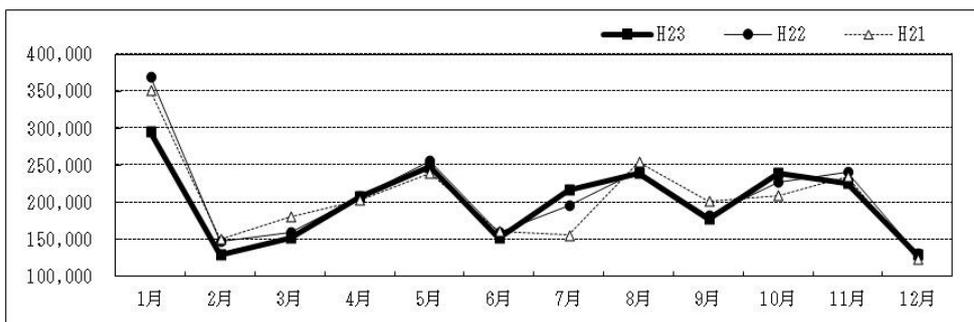
年	入り込み数
H23	2,065,152
H22	2,003,314
H21	2,138,885
対比	増減
H23対H22	+3.09%
H23対H21	-3.45%

浜田地域



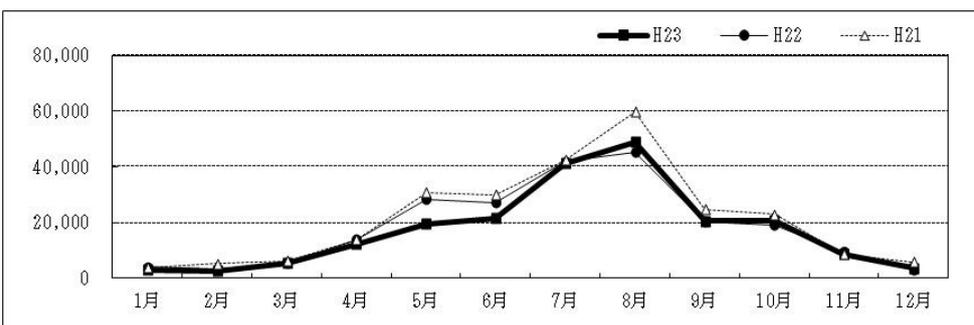
年	入り込み数
H23	2,252,544
H22	2,308,549
H21	1,988,594
対比	増減
H23対H22	-2.43%
H23対H21	+13.27%

益田地域



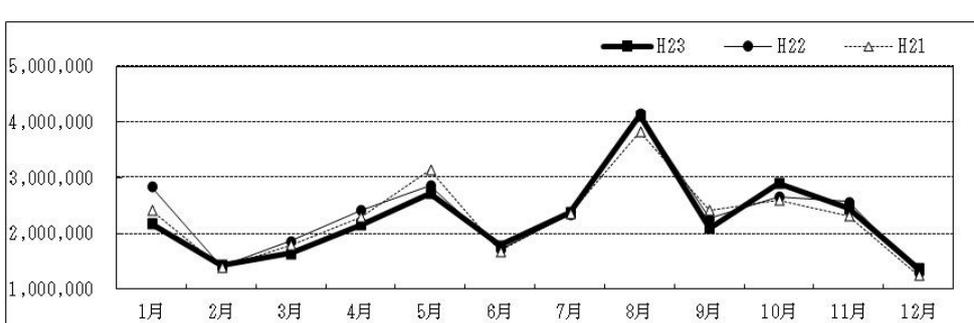
年	入り込み数
H23	2,427,224
H22	2,538,427
H21	2,464,681
対比	増減
H23対H22	-4.38%
H23対H21	-2.54%

隠岐地域



年	入り込み数
H23	206,941
H22	221,204
H21	253,982
対比	増減
H23対H22	-6.45%
H23対H21	-18.52%

全県



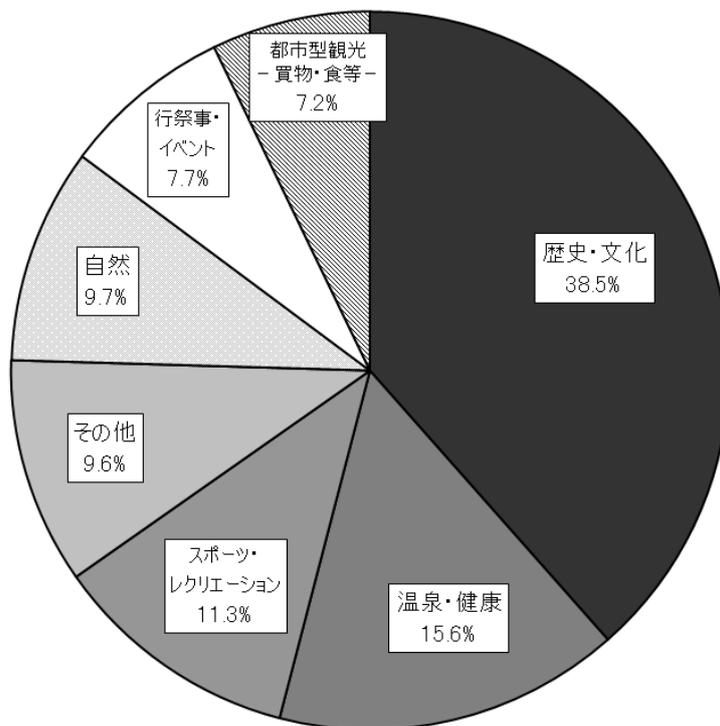
年	入り込み数
H23	27,502,014
H22	28,403,194
H21	27,504,552
対比	増減
H23対H22	-3.17%
H23対H21	-0.10%

(3) 行動目的別観光入込客延べ数

市町村から報告のあった観光地点（施設等）を観光客の行動目的別（中分類）に分類、集計の上比較すると、最も多いのが「歴史・文化」で全体の38.5%、次いで「温泉・健康」の15.6%、「スポーツ・レクリエーション」の11.3%となっており、この上位3項目で全体の7割弱を占める。

行動目的	入込客延べ数 (人)	対前年増減 (%)
歴史・文化	10,580,282	-5.6%
温泉・健康	4,286,546	-3.6%
スポーツ・レクリエーション	3,082,646	-6.4%
その他	2,803,596	+3.0%
自然	2,674,074	-1.0%
行祭事・イベント	2,108,761	+2.3%
都市型観光－買物・食等－	1,966,109	-0.4%

《観光目的別割合》



《観光目的別入込数の上位5区分（その他除く）》

中分類	小分類	入込延べ数 (人)	対前年増減 (%)
歴史・文化	神社・仏閣	5,494,289	-7.6%
温泉・健康	温泉	4,286,546	-3.6%
歴史・文化	博物館	1,757,392	-0.5%
自然	海岸	1,427,911	-5.1%
都市型観光－買物・食等－	食・グルメ	1,038,342	-8.4%

6. 観光客の動向（観光地点アンケートによる）

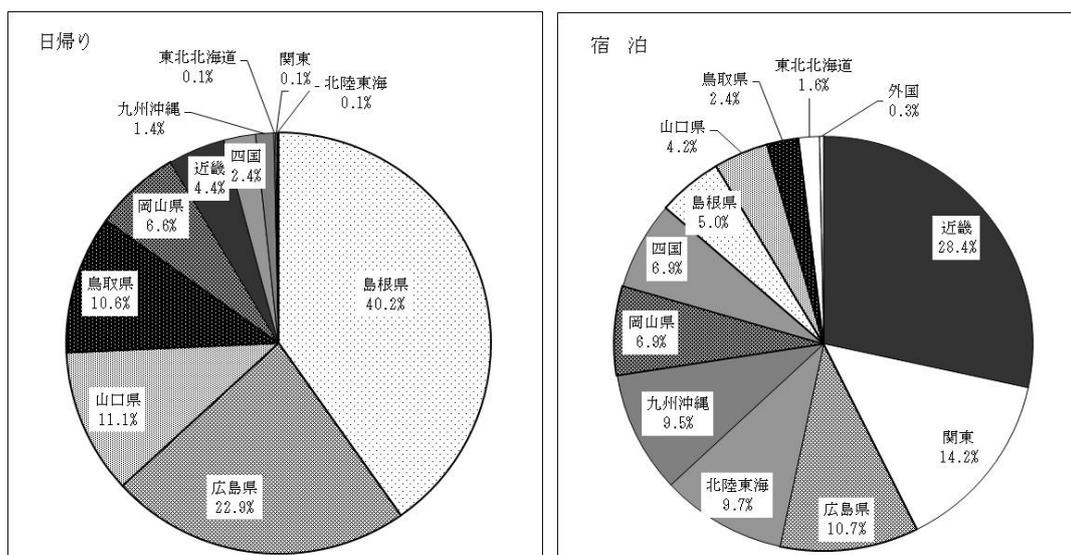
平成23年観光地点アンケート調査によって得られたデータをもとに、観光客の動向を分析する。

（1）発地（住所）

ア. 日帰り・宿泊別入り込み割合

日帰りでは、島根県が最も多く40.2%、次いで広島県22.0%で、中国5県からが全体の約9割(91.4%)を占める。

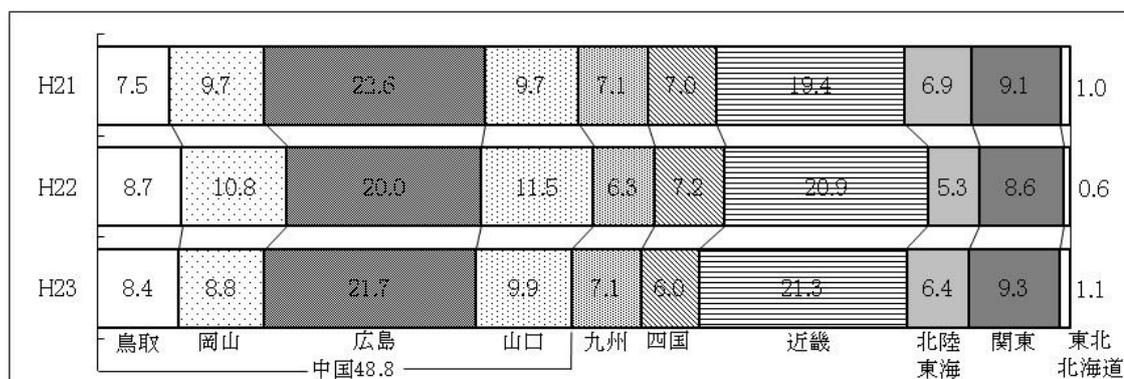
宿泊では、近畿が最も多く28.4%、次いで関東14.2%、近畿・関東地域を合わせると約4割(42.6%)を占め、中国5県の約3割(29.2%)を上回っている。



イ. 県外観光入込客割合

県外客の発地別入り込み割合は、広島からが最も多く21.7%、次いで近畿21.3%、山口9.9%の順となっている。中国4県を合わせると全体の約5割(48.8%)を占めている。過去2年間と比べると近畿の割合が少しずつ増加している傾向である。

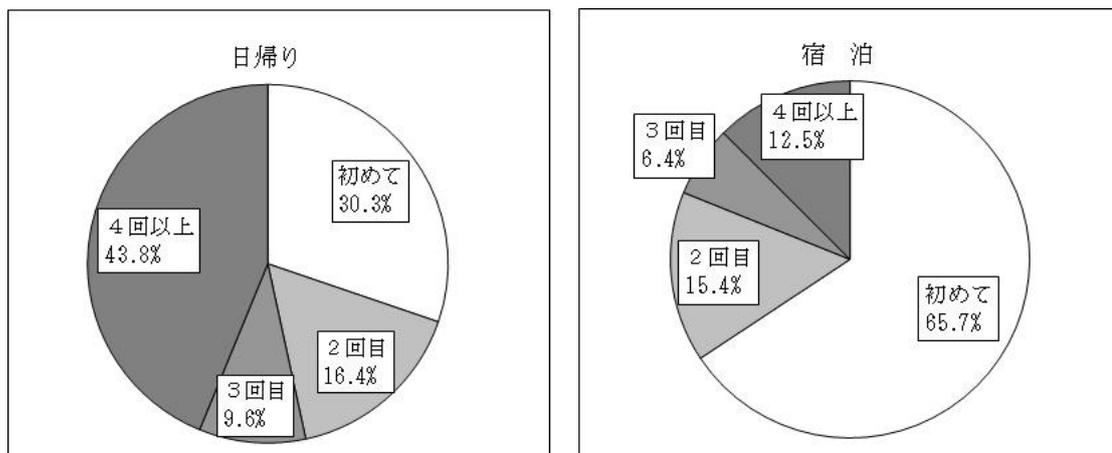
〈県外観光客発地別入込客割合の推移 (%)〉



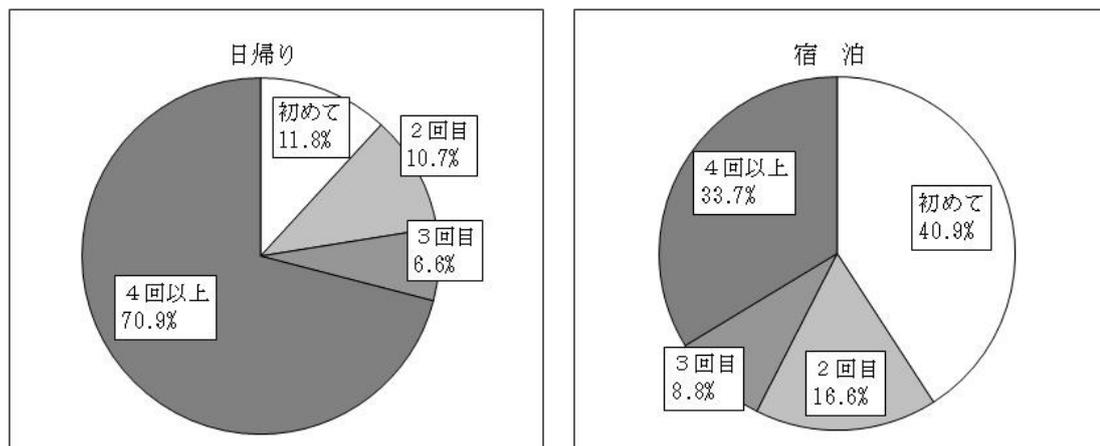
(2) 旅行回数

観光施設への訪問回数は、日帰りの場合はリピーターが多く、宿泊の場合は初めての方が多。島根県への訪問回数も同様の傾向があるが、初めての割合は大きく下がる。

①観光施設の訪問回数

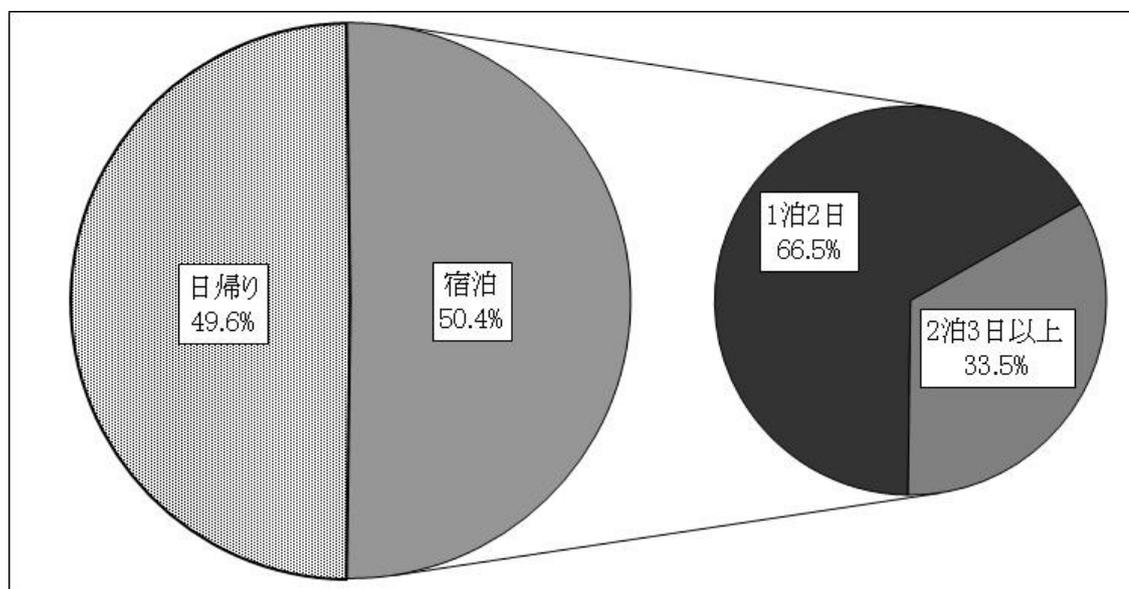


②島根県の訪問回数 (なお、この項目は県外客のみに島根県への訪問回数を質問している。)



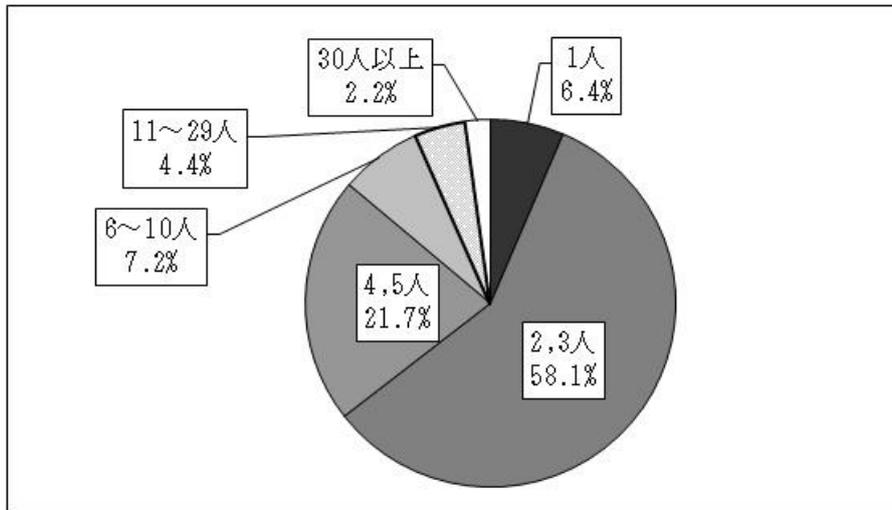
(3) 旅行日程

「日帰り」が49.6%、「宿泊」が50.4%と、日帰り客及び宿泊客の割合がほぼ同じとなっている。宿泊客の内、約7割(66.5%)が1泊2日となる。



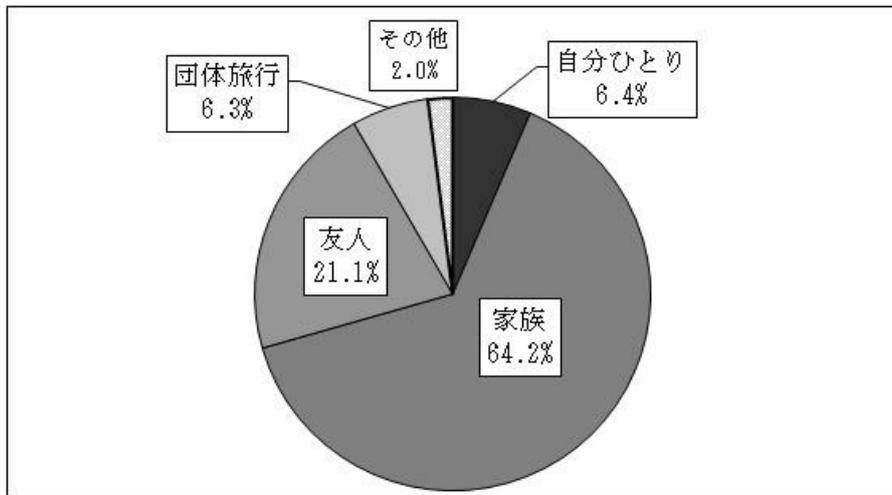
(4) 同行人数

日帰り、宿泊でほぼ同じ傾向であり、全体として「2、3人」が最も多く全体の約6割弱（58.1%）を占める。



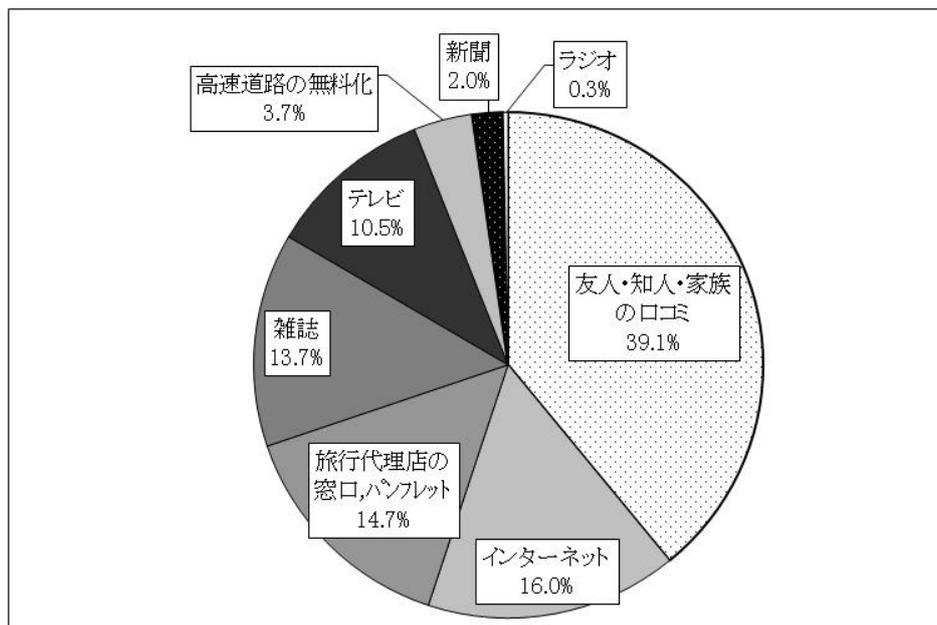
(5) メンバー構成

日帰り、宿泊でほぼ同じ傾向であり、全体として「家族」が最も多く64.2%、次いで「友人」21.1%であった。



(6) 旅行地を決定する際にきっかけとなった情報源

旅行地の情報を知っていた（その他を回答）を除くと、友人・知人・家族の口コミが39.1%と最も多く、次いでインターネット、旅行代理店、雑誌と続く。高速道路無料化社会実験も約4%あった。

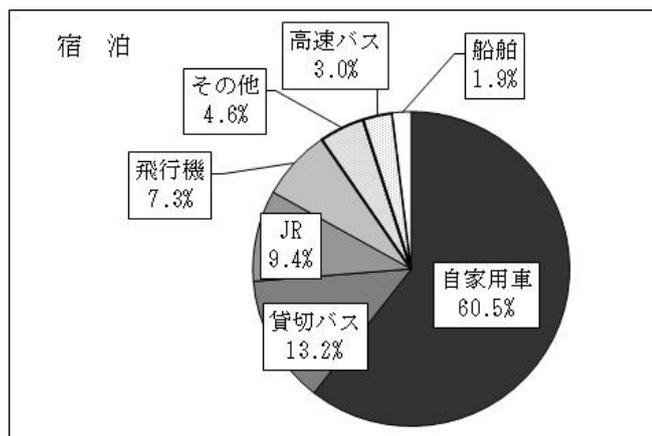
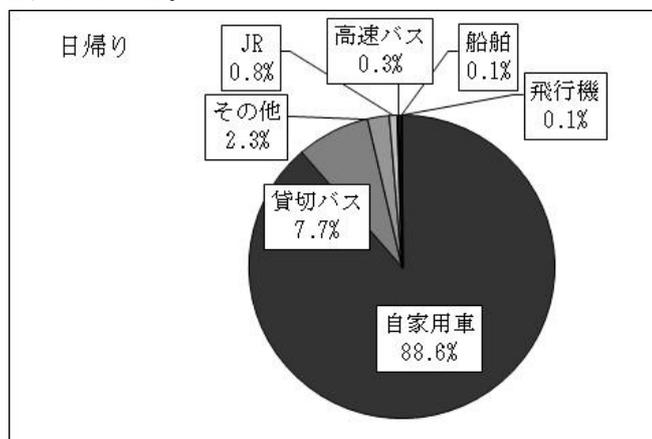


(7) 利用交通機関

ア. 日帰り・宿泊別入込割合

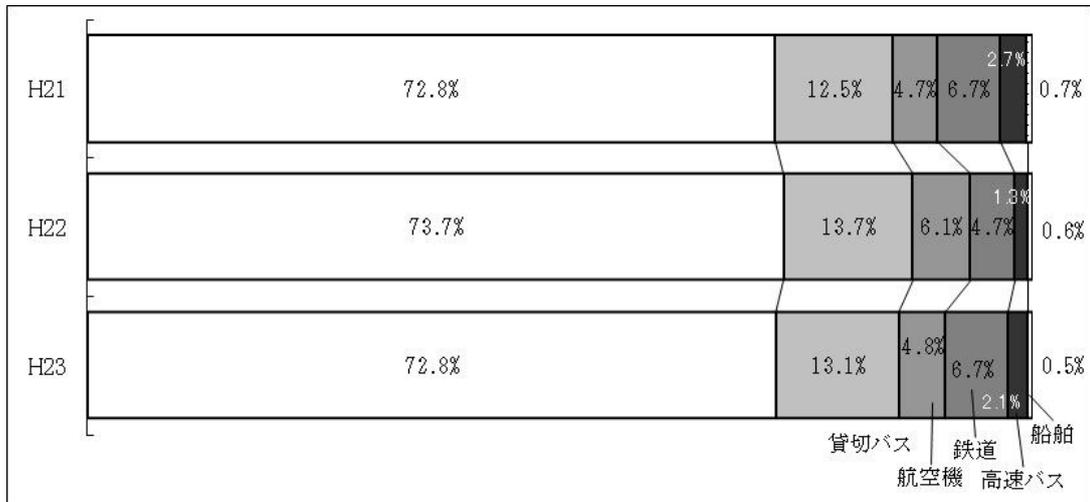
日帰りでは、自家用車が約9割(88.6%)を占めている。

宿泊では、自家用車が約6割(60.5%)、次いで貸切バス、JRがほぼ同じでそれぞれ約1割を占めている。



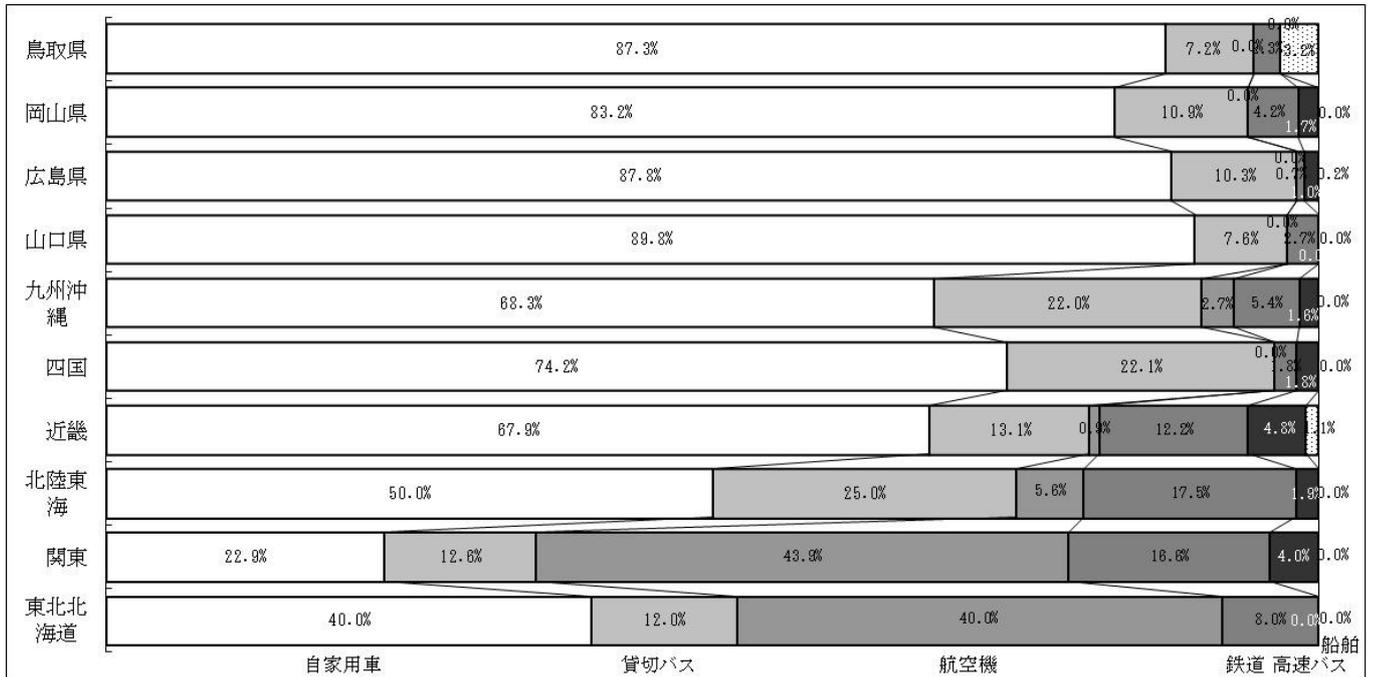
イ. 県外観光入込客割合

県外客について利用交通機関別にみると、自家用車が最も多く全体の 72.8%を占め、次いで貸切バス、航空機の順となっている。ETC 割引制度及び山陰道無料化社会実験終了の影響で自家用車の割合が減少した。



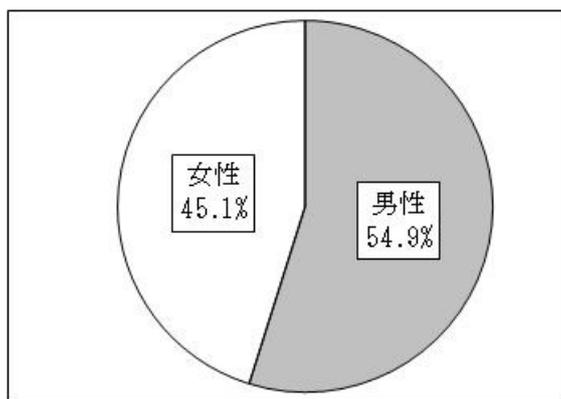
ウ. 地域別(県外)移動手段別割合

県外客について地域別にみると、中国、九州、四国、近畿、北陸東海では自家用車が 5 割以上を占め、関東では航空機の利用が最も高くなっている。



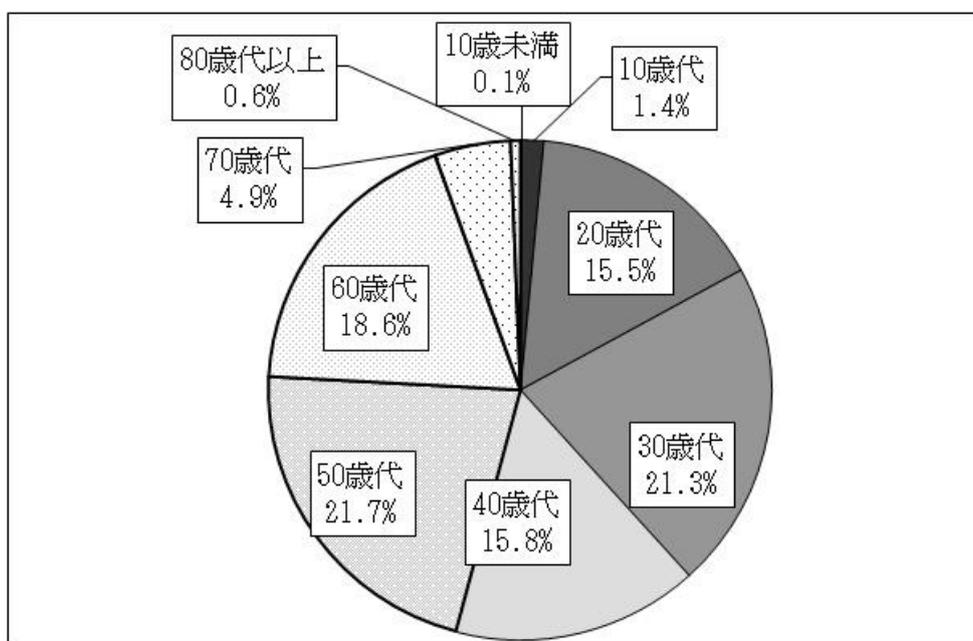
(8) 性別

日帰り、宿泊でほぼ同じ傾向であり、全体として「男性」が約 55%、「女性」が約 45%であった。



(9) 年齢

日帰り、宿泊でほぼ同じ傾向であり、30歳代から60歳代が約2割ずつ占めている。



(10) 満足度

日帰り宿泊ともに、「満足」と「ほぼ満足」を合せると8割以上が満足している結果であった。

一方「やや不満」と「不満」を合せると日帰りと宿泊を合せて3.2%であった。

不満の理由としては「道路に関する苦情」や「駐車場に関する苦情」、「飲食店などのサービス」などがあつた。

